

プレスリリース | 2018年2月開催の写真展

ギャラリーの紹介

gallery 176は、2005年～2009年まで大阪・豊中市で運営されていた写真専門ギャラリーです。2016年9月17日(9月17日は、日本で最初にダゲレオタイプ(銀板写真)の撮影が成功した日です)に、元オーナーと7人の写真家の計8人(現在7人)で共同運営するギャラリーとして再開しました。

これまで、企画展として、西岡潔展「Migration」、石田榮展「はたらくことは 生きること—昭和30年前後の高知」、本山周平展「日本 2001 – 2016」、金川晋吾展「father 2009.04.10-」、熊谷直子展「シャッターラブ」、山縣勉展「涅槃の谷」、森山大道 写真展「Odasaku」、野村佐紀子 写真展「Ango」を開催しています。

ギャラリーの詳細

ギャラリー名称 : gallery 176 (ギャラリー イナロク)

住所 : 〒561-0851 大阪府豊中市服部元町1-6-1

電話番号 : 050-7119-9176

交通アクセス : 阪急宝塚線 服部天神駅 (梅田から11分) 下車 徒歩1分

e-mail : info@176.photos

web site : <http://176.photos/>

写真展会期 : 通常は金曜始まりの翌々週の火曜まで

開廊時間 : 平日 13:00～19:00、土曜 11:00～19:00、日曜祝日 11:00～17:00

写真展開催中の休廊日 : 水曜、木曜

*写真展が開催されていない場合は休廊/開廊時間、休廊日が異なる場合があります

ギャラリー運営メンバー :

北田祥喜、木村準、杉あつよ、友長勇介 (オーナー)、西川善康、布垣昌邦、松原豊 (五十音順、計7名)

2017年12月～2018年2月の写真展

12月22日(金)～1月30日(火) 企画展 野村佐紀子 写真展「Ango」

*前回11月送付のプレスリリースに詳細を掲載済

2月16日(金)～2月27日(火) 企画展 榎本八千代写真展「20050810」

*今回12月送付のプレスリリースに詳細を掲載

榎本八千代写真展「20050810」

会場：gallery 176（ギャラリー イナロク）

大阪府豊中市服部元町1-6-1／阪急宝塚線 服部天神駅(梅田から11分)下車 徒歩1分

会期：2018年2月16日(金)～2月27日(火)

休廊日：2月21日(水)、22日(木)

開廊時間：平日 13:00～19:00、土曜 11:00～19:00、日曜 11:00～17:00

作品説明：

展示されている写真は4歳の男の子の使い古された靴と服とおもちゃ。そしてその子供が住んでいたマンションの周りの風景が写っているだけです。本来ならその使いふるされたモノ達は成長ともに役目を終えて、廃棄されるべき予定のものでした。しかし、それらのモノたちは捨てられることはなく、そして誰かに譲られることもなく、ずっと戸棚の奥へ長い間、隠されておりました。

何故ならそれは、その母親が、彼が亡くなったと言う事実をどうしても認められなかったからです。しかし、それらのモノ達は11年もの間、存在はずっと忘れられていなかったものの1度も外へ出されることはありませんでした。彼女はその事実に対して 正面から向かいあう勇気がありませんでした。自分の子供の死というのは自分の残りの人生の死でもあるからです。

2016年の春、その子の母親であり 作者でもある榎本が しまわれていた箱から一つ一つ丁寧に取りし、カメラの前に置き、そしてファインダーを通して やっと11年前の「喪失」について やっと考え始めることができました。それは、写真というツールを利用することにより自らの「喪失」の記憶について、辛いながらも向かいあう事が出来ると考えたからです。亡くなった子供をよみがえさせたいという感情と、成仏して欲しいという感情は、まったく正反対の位置にありながらも、常に榎本はそれを持ち続けてきました。写真という手段は、そのアンビバレント (ambivalent) な欲望を1時的に実現できるツールであるとも彼女は考えたからです。

展示概要：

子供が生前使用していたおもちゃ・服を撮影した写真 A2サイズ 18枚、A0サイズ 4枚 (予定)
子供が通学していた保育園までの道のりと住んでいたマンション室内の写真 A3ノビ 20点程度 (予定)

*インクジェットプリント額装なし

*当展示は、2017年8月8日(火)～13日(日) にRoonee 247 Fine Arts (東京小伝馬町) で開催され、6日間で約600名が来訪した展示を再構成したものです。



(c) yachiyo ENOMOTO



榎本 八千代 (えのもと やちよ)

1967年 埼玉県生まれ

2017年4月より 東京藝術大学社会連携課勤務 (年俸制大学職員)

2017年3月 京都造形芸術大学通信部美術科写真コース卒業

関連イベント

レセプション&トーク「混ぜるな危険！」

日時：2018年2月16日(金) 18:30～21:30

18:30～ レセプション

19:30～ トーク

出席者：セイリー育緒 (写真家) × 榎本八千代

料金：入場無料、予約不要

セイリー育緒 (せいりー いくお)

写真家。京都市生まれ。東京、メキシコシティ、ハリウッド、サンフランシスコなどに暮らし、現在は再び京都在住。デジタル世代に向け、フィルムカメラを取り入れたユニークライフを提案する Film Camera Revival の代表。2007年に土門拳文化賞を受賞。写真集に「Whiskey drinking troubadour / 酔いどれ吟遊詩人」(窓社)、著書に「I love フィルムカメラ」(技術評論社)。

お問い合わせ先

榎本八千代写真展「20050810」に関するご質問、メディア掲載用画像の提供等のお問い合わせは、下記までお願い致します。

gallery 176 (ギャラリー イナロク)

担当：友長勇介

tel : 050-7119-9176

e-mail : info@176.photos